

4章 図形の調べ方

平行な直線の性質を調べよう



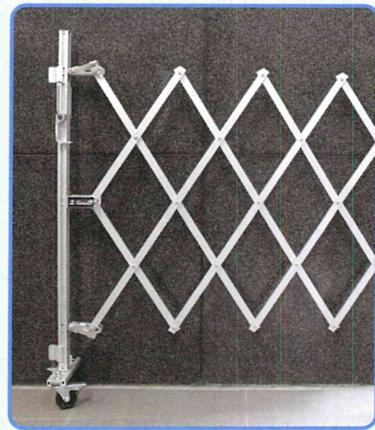
けいたさんたちは、下のような伸縮式の門扉^{しんしゆくもんぴ}が開閉するようすを見て、いろいろなことに気がつきました。

5

縮めたとき



の伸ばしたとき



直線がたくさんあるけど、交わっているものや平行になっていそうなものがあるね。

角がたくさんあるけど、大きさが等しいものがありそうだね。

伸ばしたり縮めたりしても、その関係は変わっていないように見えるよ。

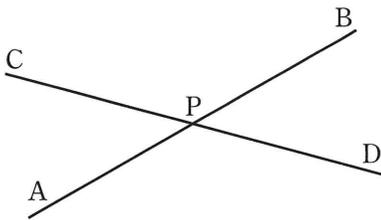


1

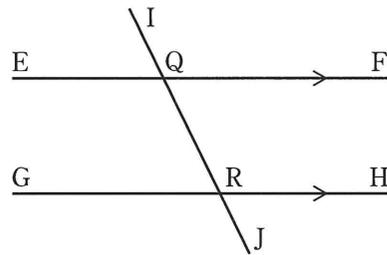
節 平行と合同

けいたさんは、直線が交わってできる角の大きさについて考えることにしました。

(ア) 2つの直線 AB, CD が
交わってできる角



(イ) 平行な2直線 EF, GH と、それらに
交わる直線 IJ によってできる角

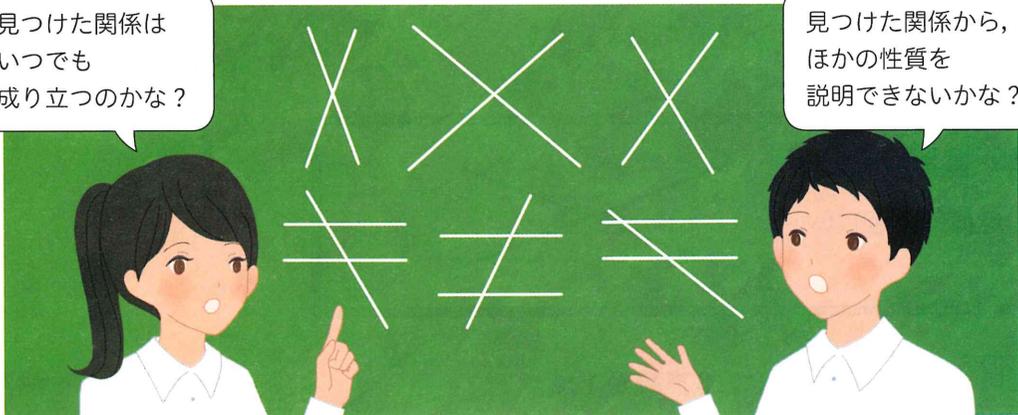


話しあおう

上の(ア)の図で、2つの直線が交わってできる角には、
どんな関係があるでしょうか。

また、上の(イ)の図で、平行な2直線と、それらに交わる
直線によってできる角には、どんな関係があるでしょうか。

見つけた関係は
いつでも
成り立つのかな？



見つけた関係から、
ほかの性質を
説明できないかな？

図形の性質の調べ方について学びましょう。

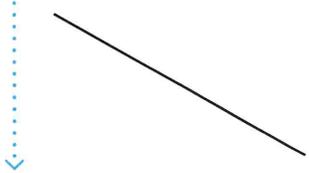
1 角と平行線

直線が交わってできる角の性質について調べましょう。

対頂角

◎ ひろげよう

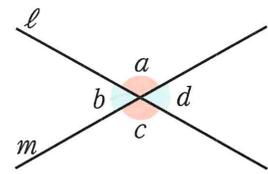
5



左の直線に交わる直線をひき、
交点のまわりにできる角の
大きさを測ってみましょう。

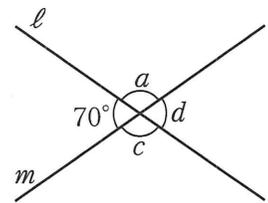


2つの直線が交わってできる4つの角のうち、
右の図の $\angle a$ と $\angle c$ のように向かいあっている
2つの角を、^{たいちようかく}対頂角 といいます。



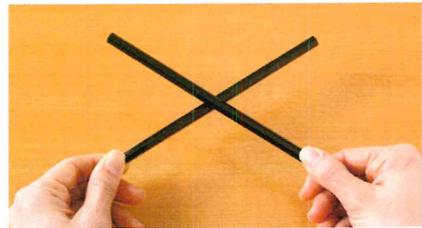
$\angle b$ と $\angle d$ も対頂角です。

一直線の角は 180° だから、 $\angle b = 70^\circ$ のとき、
 $\angle a$ と $\angle c$ の大きさは、どちらも $180^\circ - 70^\circ$ となり、
 $\angle a = \angle c$ がいえます。



15

$\angle b = 70^\circ$ でないときにも、
 $\angle a = 180^\circ - \angle b$ 、 $\angle c = 180^\circ - \angle b$
だから、 $\angle a = \angle c$ の関係は、 $\angle b$ がどんな
大きさの角であっても成り立ちます。

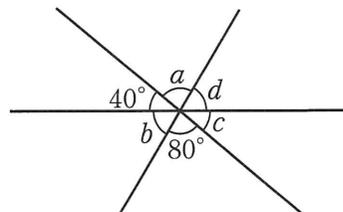


対頂角の性質

対頂角は等しい。

20

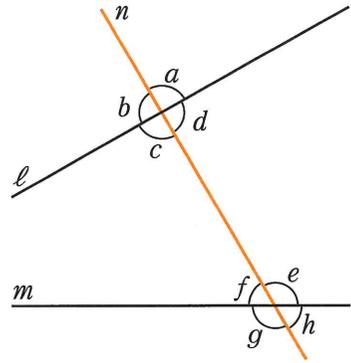
問1 右の図のように、3直線が1点で
交わっています。
このとき、 $\angle a$ 、 $\angle b$ 、 $\angle c$ 、 $\angle d$ の
大きさを求めなさい。



▶ 補充問題 1

▶ 同位角・錯角と平行線

右の図のように、2直線 l , m に直線 n が交わっているとき、 $\angle a$ と $\angle e$ のような位置にある2つの角を、**同位角** といいます。

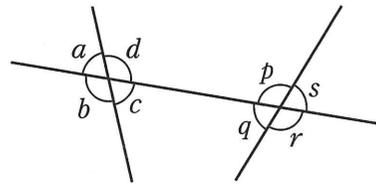


- 5 $\angle b$ と $\angle f$, $\angle c$ と $\angle g$, $\angle d$ と $\angle h$ も、それぞれ同位角です。

また、 $\angle c$ と $\angle e$ のような位置にある2つの角を、**錯角** といいます。

$\angle d$ と $\angle f$ も錯角です。

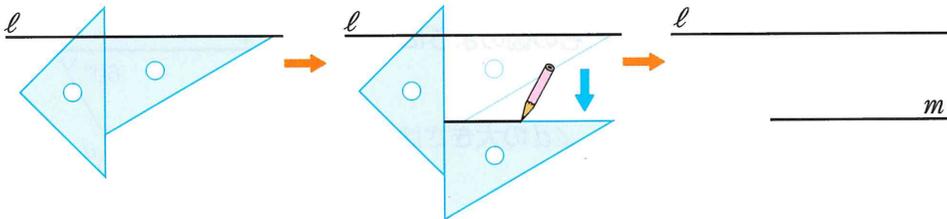
- 10 **問2** 右の図で、 $\angle a$ の同位角をいいなさい。
また、 $\angle p$ の錯角をいいなさい。



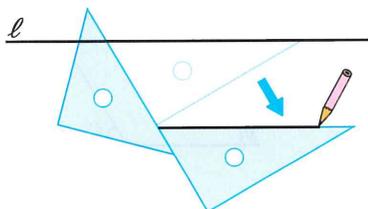
これまでは、1組の三角定規を使って、平行な直線を、次のようにしてかいてきました。

ふりかえり 算数

(ア) 直角を使った平行な直線のかき方



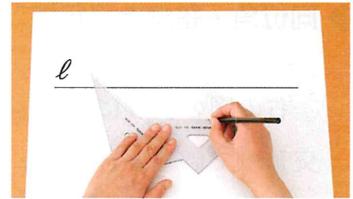
(イ) 直角以外の角を使った平行な直線のかき方



直角以外の角を使ってかくこともできたね。



2つの直線が平行であることを，同位角に着目して考えましょう。



前ページの「ふりがえり」の方法で平行線をひくときには，右の図で，同位角である $\angle a$ と $\angle b$ が等しければ， $l \parallel m$ であることを利用しています。つまり，

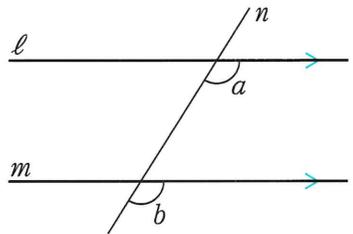
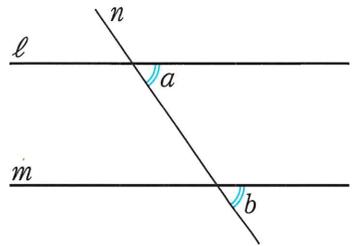
$$\angle a = \angle b \text{ ならば } l \parallel m$$

です。

また，右の図で， $l \parallel m$ のとき， n が l ， m とどのように交わっても，同位角である $\angle a$ と $\angle b$ は等しくなります。つまり，

$$l \parallel m \text{ ならば } \angle a = \angle b$$

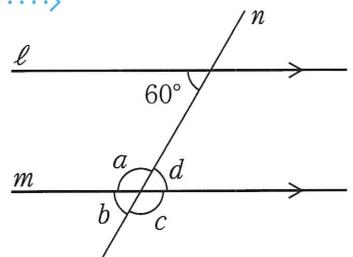
です。



平行線と同位角の関係を使って，平行線と錯角の関係について調べましょう。

◎ ひろげよう

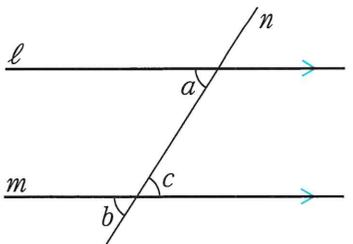
2つの平行な直線 l ， m に，右の図のように直線 n をひきました。
このとき， $\angle a$ ， $\angle b$ ， $\angle c$ ， $\angle d$ の大きさはどうなるでしょうか。



右の図で， $l \parallel m$ のとき，同位角 $\angle a$ と $\angle b$ は等しく，対頂角 $\angle b$ と $\angle c$ は等しいから，錯角 $\angle a$ と $\angle c$ は等しくなります。つまり，

$$l \parallel m \text{ ならば } \angle a = \angle c$$

です。

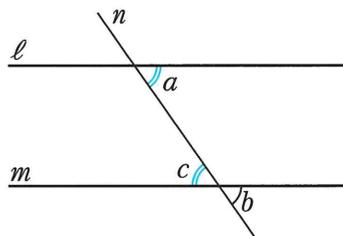


前ページで調べたことから、2つの直線が平行ならば、
錯角は等しいことがわかりました。

では、錯角が等しいときの2つの直線の位置関係は
どうなるでしょうか。

○ 逆向きに考える

5 右の図で、錯角 $\angle a$ と $\angle c$ が等しいとき、
対頂角 $\angle c$ と $\angle b$ は等しいから、 $\angle a = \angle b$
となります。



したがって、同位角が等しいので、 $l \parallel m$
となります。つまり、

10 $\angle a = \angle c$ ならば $l \parallel m$

です。

これまでに調べたことをまとめると、次のようになります。

平行線の性質

2つの直線に1つの直線が交わる時、次のことが成り立つ。

- ① 2つの直線が平行ならば、同位角は等しい。
- ② 2つの直線が平行ならば、錯角は等しい。

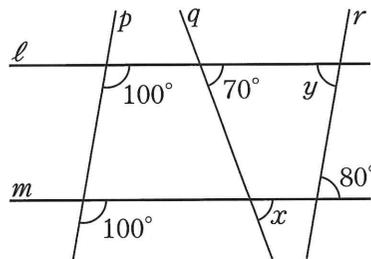
平行線になるための条件

2つの直線に1つの直線が交わる時、次のことが成り立つ。

- ① 同位角が等しいならば、この2つの直線は平行である。
- ② 錯角が等しいならば、この2つの直線は平行である。

問3 右の図について、次の問いに答えなさい。

- (1) $l \parallel m$ である理由をいいなさい。
- (2) $\angle x$, $\angle y$ の大きさを求めなさい。
- (3) l と m のほかに、平行な直線の組を見つけ、記号 \parallel を使って表しなさい。



▶ 補充問題 2

補充問題

2



例 1 平行線の性質を使った説明

右の図で、

$$l \parallel m \text{ ならば, } \angle a + \angle b = 180^\circ$$

であることを説明する。

平行線の錯角は等しいので、

$l \parallel m$ から、

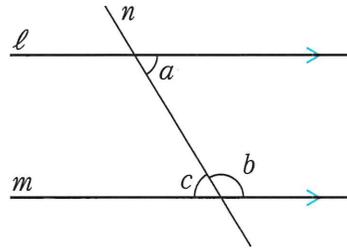
$$\angle a = \angle c \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

また、一直線の角だから、

$$\angle c + \angle b = 180^\circ \quad \dots\dots \textcircled{2}$$

①, ②から、

$$\angle a + \angle b = 180^\circ$$

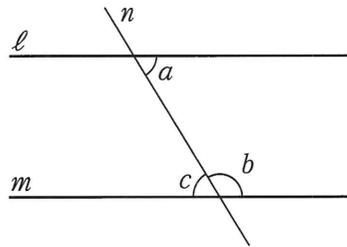


説明しよう

右の図で、

$$\angle a + \angle b = 180^\circ \text{ ならば, } l \parallel m$$

であることを説明しましょう。

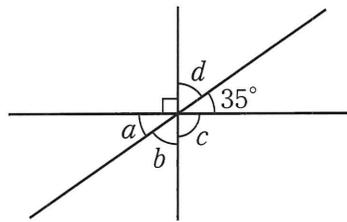


練習問題

1 角と平行線

1 右の図のように、3直線が1点で交わっています。

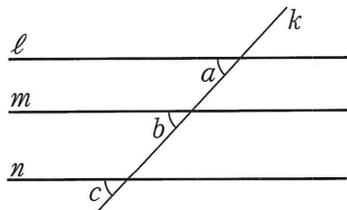
このとき、 $\angle a$, $\angle b$, $\angle c$, $\angle d$ の大きさを求めなさい。



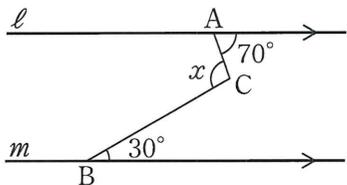
2 右の図で、角の関係を使って、

$$l \parallel m, m \parallel n \text{ ならば, } l \parallel n$$

であることを説明しなさい。



3 右の図で、 $l \parallel m$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



5

10

15

20

25

2 多角形の角

三角形の角の性質について調べましょう。

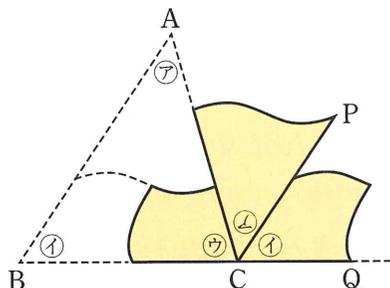
三角形の3つの角については、次のことを学びました。

ふりかえり 算数

5 三角形の3つの角を集めると、3つの角が一直線に並ぶから、三角形の3つの角の和は 180° になります。

◎ ひろげよう

右の図で、直線BAとCPはどんな位置関係にあるでしょうか。



10 上の◎ひろげようの図では、 $BA \parallel CP$ となります。

では、三角形の3つの角の和が 180° であることを、平行線の性質などを使って確かめましょう。

右の図のように、点Cを通る半直線CDを、

$$\angle a = \angle d \quad \dots\dots ①$$

15 となるようにひきます。また、 $\triangle ABC$ の辺BCを延長した直線上の点をEとします。

BAとCDについて、①より、錯角が等しいので、平行線になるための条件より、

$$BA \parallel CD$$

20 平行線の同位角は等しいので、

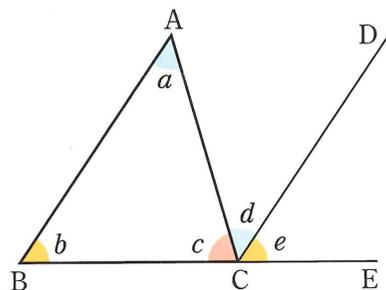
$$\angle b = \angle e \quad \dots\dots ②$$

①、②から、 $\triangle ABC$ の3つの角の和を求めると、

$$\begin{aligned} \angle a + \angle b + \angle c &= \angle d + \angle e + \angle c \\ &= \angle BCE \end{aligned}$$

25 3点B, C, Eは一直線上にあるから、 $\angle BCE = 180^\circ$ であり、三角形の3つの角の和は 180° であるといえます。

上の説明によって、どんな三角形でも、3つの角の和は 180° であることが示されたことになります。

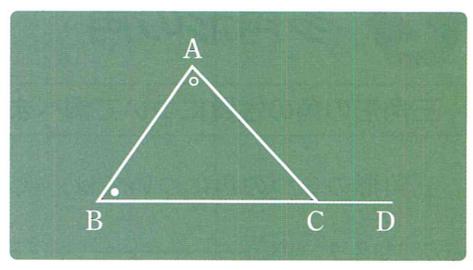


三角形の形には
よらないんだね。



説明しよう

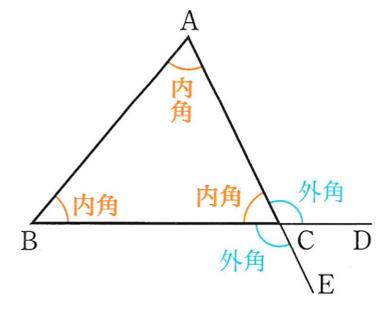
△ABCで、辺BCを延長した直線上の点をDとします。このとき、 $\angle A + \angle B$ と等しい角はどれですか。



また、その理由を説明しましょう。

△ABCの3つの角 $\angle A$, $\angle B$, $\angle C$ を、**内角** ないかく といいます。

また、△ABCの辺BCを延長した直線上の点をDとするとき、 $\angle ACD$ のような、1つの辺を延長した直線と、そのとなりの辺との間にできる角を、頂点Cにおける**外角** がいかく といいます。

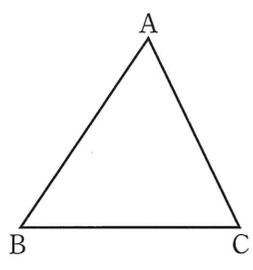


辺ACを延長してできる $\angle BCE$ も、頂点Cにおける外角です。

頂点A, Bにおける外角も、同じように考えることができます。

? 1つの頂点における2つの外角の大きさをくらべると、どんなことがわかるかな。

問1



△ABCで、頂点Aにおける外角を、左の図に示しなさい。

これまでに調べたことから、次のことがいえます。

三角形の内角・外角の性質

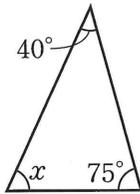
- ① 三角形の3つの内角の和は 180° である。
- ② 三角形の1つの外角は、そのとなりにない2つの内角の和に等しい。

問2

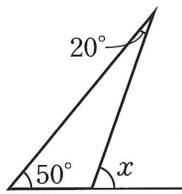
下の図で、 $\angle x$ の大きさを、それぞれ求めなさい。

▶ 補充問題 3

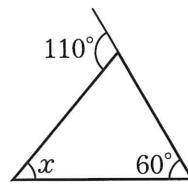
(1)



(2)

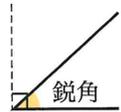


(3)



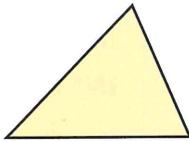
内角の大きさによって、三角形を分類しましょう。

0°より大きく90°より小さい角を **鋭角** (えいかく),
90°より大きく180°より小さい角を **鈍角** (どんかく) といいます。



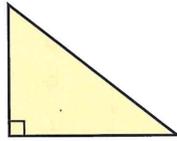
5 三角形は、内角に着目すると、次の3つに分類されます。

◇ 分類整理する



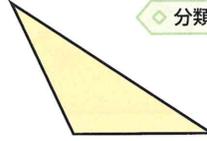
鋭角三角形

3つの内角がすべて
鋭角である三角形



直角三角形

1つの内角が
直角である三角形



鈍角三角形

1つの内角が
鈍角である三角形

問3

10 三角形で、2つの内角が次のような大きさのとき、その三角形は、
鋭角三角形、直角三角形、鈍角三角形のどれになりますか。

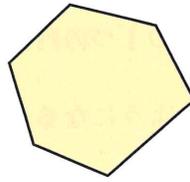
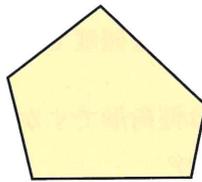
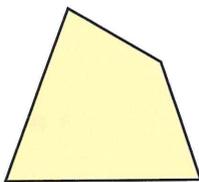
- (1) $20^\circ, 60^\circ$ (2) $50^\circ, 80^\circ$ (3) $25^\circ, 65^\circ$

多角形の内角の和や外角の和について調べましょう。

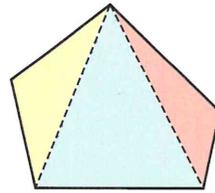
▶ 多角形の内角の和

🔍 ひろげよう

15 四角形、五角形、六角形の内角の和は、それぞれ何度になるでしょうか。



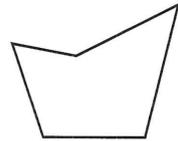
四角形や五角形などの多角形は、
1つの頂点からひいた対角線によって、
いくつかの三角形に分けられます。



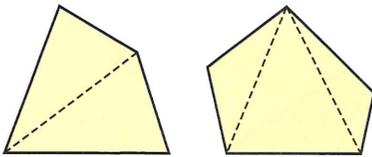
すでに学んだ形にする

多角形を三角形に分けて、内角の和を
調べましょう。

注意 この教科書では、多角形という場合、右の図のような
へこみのあるものは考えないことにします。



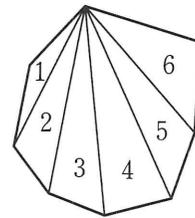
問4 多角形の1つの頂点から
対角線をひき、右の表の
□にあてはまる数を
調べて書き入れなさい。



多角形	辺の数	三角形の数	内角の和
三角形	3	1	$180^\circ \times 1$
四角形	4	2	$180^\circ \times 2$
五角形	5	3	$180^\circ \times 3$
六角形	6	4	$180^\circ \times 4$
七角形	7	□	$180^\circ \times \square$
八角形	8	□	$180^\circ \times \square$
九角形	9	□	$180^\circ \times \square$
⋮	⋮	⋮	⋮

? 辺の数が1増えると、内角の和は何度増えるかな。

問4 で、例えば、八角形は、1つの頂点からひいた
対角線によって、6個の三角形に分けられます。



辺の数が n である多角形は、1つの頂点からひいた
対角線によって、 $(n-2)$ 個の三角形に分けられます。

したがって、 n 角形の内角の和は、次の式で
表すことができます。

多角形の内角の和

n 角形の内角の和は、 $180^\circ \times (n-2)$ である。

内角の和は、
辺の数で
決まるね。



問5 十角形の内角の和は何度ですか。

また、正十角形の1つの内角の大きさは何度ですか。

問6 内角の和が次のようになる多角形は何角形ですか。

- (1) 900°
- (2) 1800°

▶ 補充問題 4

補充問題 | 4



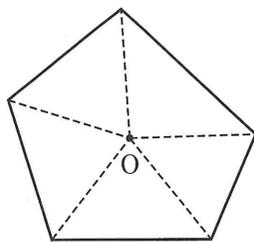
説明しよう

かりんさんは、 n 角形の内角の和を、
右の図のように考えて、

$$180^\circ \times n - 360^\circ$$

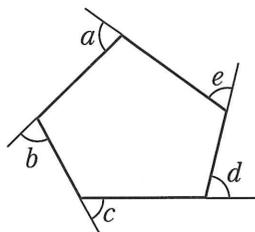
という式で表しました。

かりんさんの考え方を説明しましょう。



多角形の外角の和

右の図で、 $\angle a + \angle b + \angle c + \angle d + \angle e$ のように、
多角形のそれぞれの頂点における外角を1つずつ
とった和を、その多角形の外角の和といいます。

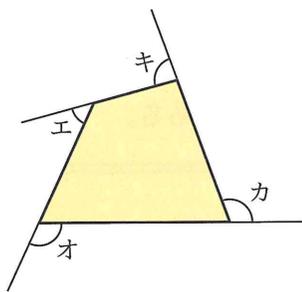
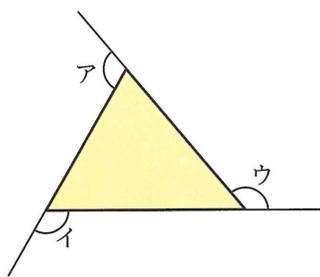


これまでは、多角形の内角の和について考えました。
では、多角形の外角の和はどうなるでしょうか。

条件をかえる

ひろげよう

下の図の三角形、四角形の外角の和は何度でしょうか。
また、ノートにいろいろな多角形をかいて、外角の和が
どうなるかを調べましょう。



辺の数が増えると、
外角の和も
増えるのかな?

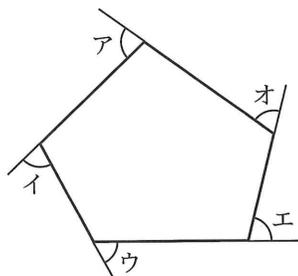


上の **ひろげよう** で、三角形、四角形の
外角の和は、どちらも 360° になります。

このことから、どんな多角形でも
外角の和は 360° になりそうです。

きまりを見つける

例えば、五角形の外角の和が 360° になることは、
これまでに学んだことを使って、次のページ
のようにして説明することができます。



五角形のどの頂点においても、内角と外角の和は 180° だから、
5つの頂点での内角と外角の和をすべてあわせると、

$$180^\circ \times 5 = 900^\circ$$

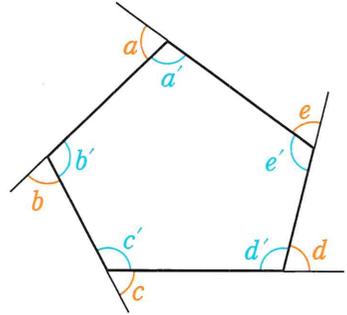
このうち、五角形の内角の和は、

$$180^\circ \times (5 - 2) = 540^\circ$$

したがって、五角形の外角の和は、

$$900^\circ - 540^\circ = 360^\circ$$

となります。



n 角形の外角の和は、次のようにして求めることができます。

$(n$ 角形の内角の和) + $(n$ 角形の外角の和) = $180^\circ \times n$
だから、

$$\begin{aligned} (n \text{ 角形の外角の和}) &= 180^\circ \times n - (n \text{ 角形の内角の和}) \\ &= 180^\circ \times n - 180^\circ \times (n - 2) \\ &= 180^\circ \times n - 180^\circ \times n + 180^\circ \times 2 \\ &= 360^\circ \end{aligned}$$

n に関係なく
 360° だね。



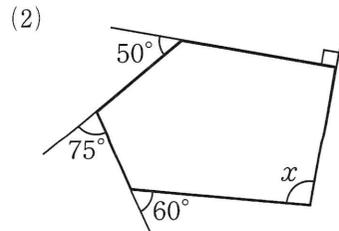
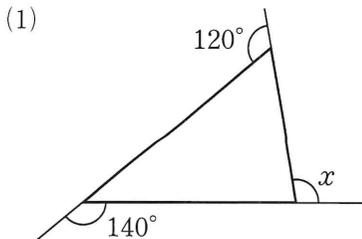
上のことから、外角の和は、どんな多角形でも同じ大きさです。

多角形の外角の和

多角形の外角の和は、 360° である。

問7 下の図で、 $\angle x$ の大きさを、それぞれ求めなさい。

▶ 補充問題 5



問8 正十二角形の1つの外角の大きさは何度ですか。
また、1つの内角の大きさは何度ですか。

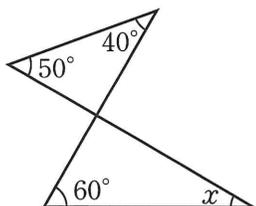
▶ 補充問題 6



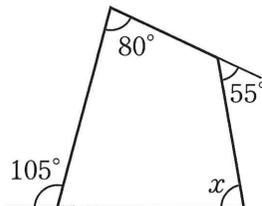


1 下の図で、 $\angle x$ の大きさを、それぞれ求めなさい。

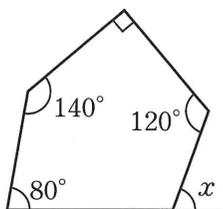
(1)



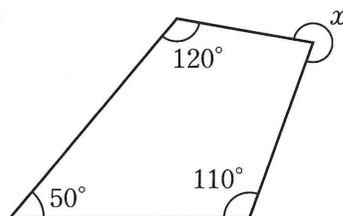
(2)



(3)



(4)



1周した結果は…

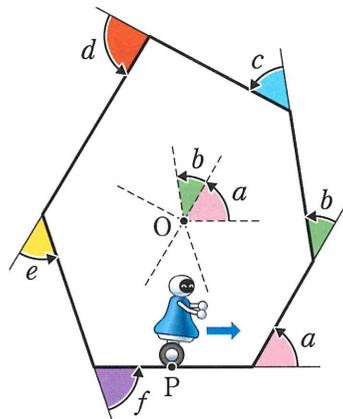
5 右の図のような六角形のレールがあります。
 ロボットが、P地点から矢印の方向に進み、
 それぞれの頂点で進行方向を変えて、
 このレールを1周します。このとき、方向を
 変えた角度の合計は何度でしょうか。

10 右の図のように、方向を変えた角度の
 合計は、六角形の外角の和とみることが
 できます。

15 また、点Oから、それぞれの辺に平行な
 半直線をひくと、それぞれの頂点における
 外角を、点Oのまわりに集めることができます。

このとき、集めた角は、点Oのまわり1周分、つまり、その大きさは
 360° になります。

この考え方からも、多角形の外角の和が 360° になることがわかります。



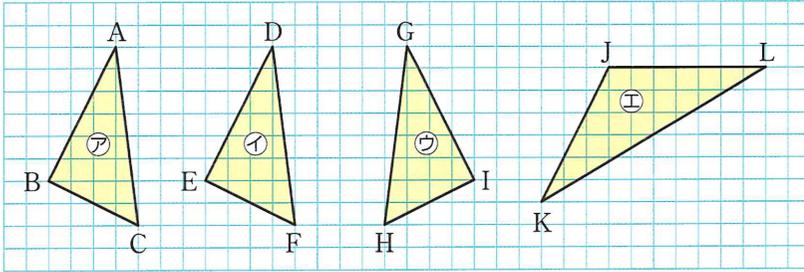
外角を
集めよう

3 三角形の合同

合同な三角形の性質について調べましょう。

🔍 ひろげよう

下の図で、①～④のうち、②とぴったり重なる三角形はどれでしょうか。
また、そのとき重なり合う辺をいみましょう。



裏返すと重なるものもあるよ。



上の 🔍 ひろげよう で、②と①はぴったり重なるので合同です。
また、②と③も合同です。

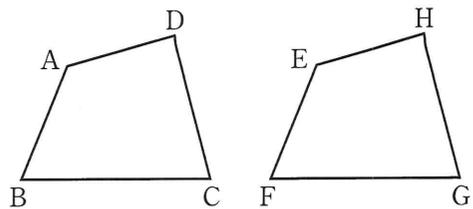
合同な図形で、重なり合う頂点、辺、角を、それぞれ、
対応する頂点、対応する辺、対応する角といいます。

合同な図形については、次のことがいえます。

合同な図形の性質

- ① 合同な図形では、対応する線分の長さは、それぞれ等しい。
- ② 合同な図形では、対応する角の大きさは、それぞれ等しい。

四角形 ABCD と四角形 EFGH が合同であることを、記号 \equiv を使って、
四角形 ABCD \equiv 四角形 EFGH
のように表します。



このとき、対応する頂点を順に並べます。

問1

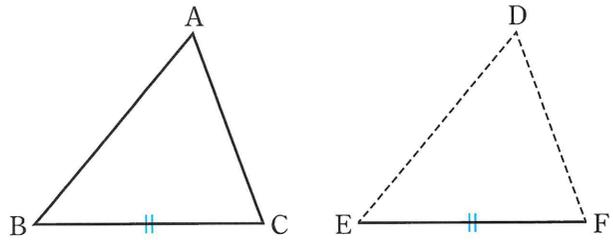
前ページの **ひろげよう** の合同な三角形⑦と⑧について、
 対応する辺と角を、それぞれいいなさい。また、この2つの
 三角形が合同であることを、記号 \equiv を使って表しなさい。

▶ 補充問題 7

2つの三角形が合同になるための条件について学びましょう。

ひろげよう

$\triangle ABC$ と合同な $\triangle DEF$ を
 かく方法を考えます。
 はじめに、辺 BC と等しい
 長さの辺 EF をかきました。
 頂点 D は、どのようにして
 決めればよいでしょうか。



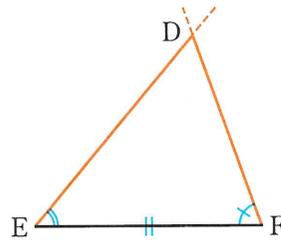
右の図のように、 $EF=BC$ のほかに、

$$\angle E = \angle B, \angle F = \angle C$$

となるようにして点 D を決めると、

$\triangle DEF$ は1通りに決まります。

このとき、辺 EF を $\triangle ABC$ の辺 BC に
 重ねると、頂点 D は A に重なって、
 $\triangle DEF$ は $\triangle ABC$ と合同であることがわかります。



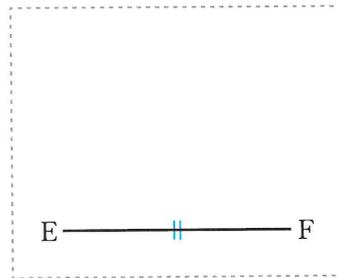
問2

上の **ひろげよう** で、 $EF=BC$ のほかに、

$$\angle E = \angle B, DE = AB$$

となるように点 D を決めて、

$\triangle DEF$ をかきなさい。



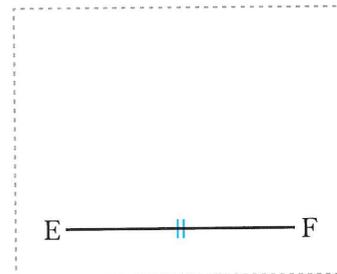
問3

上の **ひろげよう** で、 $EF=BC$ のほかに、

$$DE = AB, DF = AC$$

となるように点 D を決めて、

$\triangle DEF$ をかきなさい。

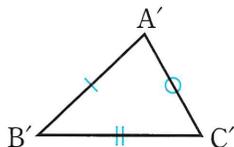
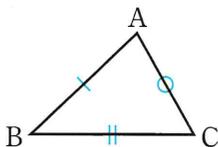


これまでに調べたことをまとめると、次のことがいえます。

三角形の合同条件

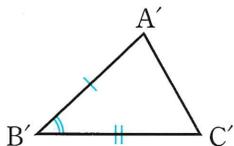
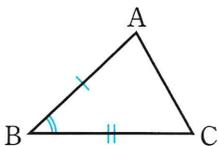
2つの三角形は、次のそれぞれの場合に合同である。

① 3組の辺が、それぞれ等しいとき



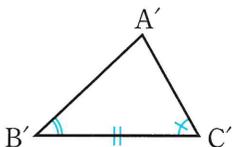
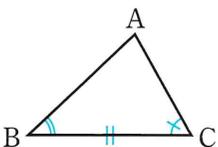
$$\begin{aligned} AB &= A'B' \\ BC &= B'C' \\ CA &= C'A' \end{aligned}$$

② 2組の辺とその間の角が、それぞれ等しいとき



$$\begin{aligned} AB &= A'B' \\ BC &= B'C' \\ \angle B &= \angle B' \end{aligned}$$

③ 1組の辺とその両端の角りょうたんが、それぞれ等しいとき



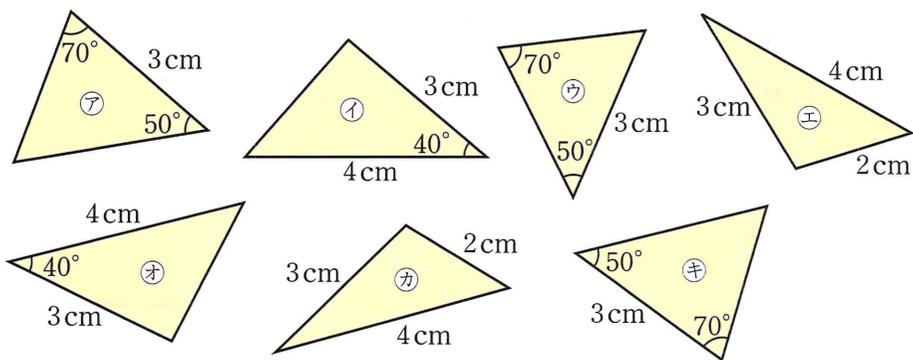
$$\begin{aligned} BC &= B'C' \\ \angle B &= \angle B' \\ \angle C &= \angle C' \end{aligned}$$

問4

下の㉠～㉥の三角形を、合同な三角形の組に分けなさい。

▶ 補充問題 8

また、そのとき使った合同条件をいいなさい。



問5

右の図で、線分 AB と CD が、

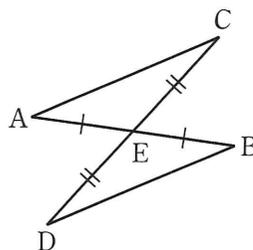
$$AE = BE, \quad CE = DE$$

となるように、点 E で交っています。

この図で、合同な三角形の組を、

記号 ≡ を使って表しなさい。

また、そのとき使った合同条件をいいなさい。



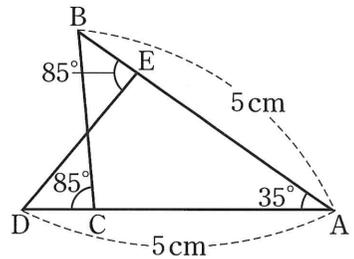
▶ 補充問題 9





1 右の図で、 $\triangle ABC$ と $\triangle ADE$ は合同になります。

このことをいうには、三角形の合同条件の
5 どれを使えばよいですか。



2 けいたさんとかりんさんが、次の(1)~(3)の三角形をかきます。

2人がかく三角形は、かならず合同になるといえますか。

(1)~(3)のそれぞれについて答えなさい。

- 10
- (1) 1辺の長さが5 cmの正三角形
 - (2) 等しい辺の長さが7 cmの二等辺三角形
 - (3) 2つの内角が 60° と 80° の三角形



2組の辺とその間にない角の場合には?

2つの三角形は、2組の辺とその間の角が、
15 それぞれ等しいとき、合同になります。

では、2組の辺とその間にない角が、それぞれ
等しいときにはどうでしょうか。

右の図のような $\triangle ABC$ と、 $EF=8\text{ cm}$ 、
20 $FD=6\text{ cm}$ 、 $\angle E=40^\circ$ の $\triangle DEF$ で考えて
みましょう。

上の条件にあう $\triangle DEF$ は、右の図で、
頂点Dの位置が、図(ア)の場合と図(イ)の
場合の2通りが考えられます。

つまり、2組の辺とその間にない角が、
25 それぞれ等しいときには、2つの三角形は
合同にならないことがあります。



2組の辺とその間に
ない角の場合には?

